

新庁舎でつなぐ 人、世田谷、未来

世田谷区では、現在、令和9年の新庁舎完成に向けて工事を進めています。構造は免震構造、環境配慮では ZEB Oriented の省エネルギーを実現します。横移動を中心とした、広くまとまりのある庁舎が、グランドレベルだけではなく、2階に設置するテラスや地下の連絡通路で庁舎全体を一体的につなぎ、区民の交流や行政との協働を促進します。

職員が働く「場」は、新しい働き方に対応できる柔軟性の高い執務空間を特徴としています。壁をなくしたオープンなフロア、気軽な打合せにも利用しやすい共有スペース、業務のシーンに合わせた ICT 機器などにより、職員相互や組織間の交流を促し、組織を超えたコラボレーションの実現に加え、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にも取り組みます。

新庁舎は、世田谷の未来を創造する庁舎です。新しい庁舎で、これからの世田谷区を一緒につくっていきましょう。



新庁舎イメージ



2階テラスイメージ



庁舎内イメージ

Access

電車：東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅 各徒歩 5 分

バス：世田谷区民会館

（渋谷駅・五反田駅・等々力操車所・梅ヶ丘駅～世田谷区民会館）

バス：世田谷区役所入口

（渋谷駅～上町・祖師ヶ谷大蔵駅・成城学園前駅西口・調布駅南口・用賀駅）

バス：世田谷駅前

（等々力操車所～祖師ヶ谷大蔵駅）

Web

このほか、採用に関する情報は
世田谷区ホームページをご覧ください。
<https://www.city.setagaya.lg.jp>



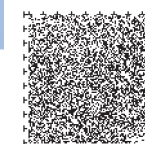
世田谷区 採用



世田谷区職員採用案内 2022



CITY OF SETAGAYA CAREER PAMPHLET 2022



世田谷区の プロフィール

世田谷区の人口は東京 23 区の中で一番多く、7 つの県の人口をも上回っています。

県レベルの人口を擁する世田谷区では、スケールの大きい仕事ができ、活躍できるフィールドもたくさんあります。

また、様々な魅力を併せ持つ世田谷区は「住みたいまち」だけでなく「住み続けたいまち」としても高い評価を受け続けています。

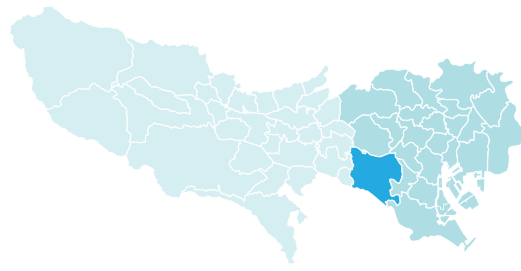
面積（令和 3 年 4 月 1 日現在）
58.05km² 23 区中 2 位

人口総数（令和 3 年 4 月 1 日現在）
920,471 人 23 区中 1 位

公園数（令和 3 年 4 月 1 日現在）
430か所 23 区中 3 位

商店街数（令和 3 年 4 月 1 日現在）
129 23 区中 2 位

農地面積（令和 2 年 8 月 1 日現在）
81.34ha 23 区中 2 位
※経営農地面積 10 a 以上の農家を対象



世田谷区は東京 23 区の南西部に位置し、多摩川を挟んで神奈川県川崎市と接しています。



— 世田谷 246 ハーフマラソン
公認競技会として国道 246 号（玉川通り）等を走るハーフマラソン。



— 世田谷区たまがわ花火大会
10 号玉を含む約 6,000 発の花火が、夜空と川面を彩ります。



— セたがや梅まつり
例年 2 ～ 3 月に羽根木公園で開催され、約 650 本の梅が咲き、春の訪れを告げています。



— セたがやふるさと区民まつり
ステージでの催しや、区と交流のある自治体の物産展など盛りだくさん。



— 世田谷のボロ市
世田谷の冬の風物詩。代官屋敷を中心に約 700 の露店が軒を連ねる伝統の市です。

世田谷区の福利厚生制度

みなさんが世田谷区の職員として勤務することとなった場合、心身ともに健康で充実した生活を送っていただけるよう、各種の福利厚生制度があります。東京都や特別区、さらに世田谷区に勤務する職員のための互助会があり、みなさんをサポートする様々な事業を行っています。

世田谷区

1. 健康相談（こころ・からだ）の実施
2. 職員住宅の提供 など

世田谷区職員互助会

1. 旅行等の余暇活動に対する助成
2. 結婚等の祝金給付
3. 映画券、テーマパークチケット等の割引

東京都職員共済組合

1. 健康保険、厚生年金
2. 保養施設、スポーツ施設等の割引提供
3. 療養費・出産費等の給付 など

特別区職員互助組合

1. 会員制の宿泊施設、スポーツ施設の割引提供
2. 指定店・テーマパークの割引、ローンのあっせん
3. 団体契約による割安な生命保険・損害保険の提供 など

世田谷区の研修制度

世田谷区では、採用後の 10 年間で職員育成の重点期間と位置づけ、区独自の研修体系で職員研修を実施しています。

採用 1 年目では、職務を行う上で必要な基礎的知識やビジネススキルを身につけ、採用 2 年目以降は「法務基礎」や「仕事の段取り」等、経験に応じた研修を受講し、さらなるステップアップを目指します。職務経験を積んだ採用 4 年目では、「キャリアチャレンジ」研修を通じて、これまでの職務経験を振り返るとともに、将来の自分のキャリアについて、長期的な視点で考えます。また、心の健康については、正しい知識を学び、一人で悩まず心の健康を維持出来るよう、職層に応じた「メンタルヘルス」研修を実施しています。

●特色ある研修（一部抜粋）

川場宿泊研修 世田谷区と縁組協定を結んでいる群馬県川場村で実施する研修です。若手職員が、縁組協定や交流事業の経緯等について学び、地方自治のあり方や都市と農山村のつながり、気候変動対策、循環型社会の実現等について、調査研究活動を行います。

その他

昇任時研修や実務研修のほか、23 区合同で実施している専門研修等の多種多様な研修を受講する機会があり、職務知識を深めることができます。



宿泊研修での森林整備（藪払い）作業



安心して暮らせるまちづくりをめざして日々奮闘しています。

所属：危機管理部地域生活安全課
職種：事務
採用年度：平成 30 年度

防犯に関わる業務を担当し、主に特殊詐欺被害防止の啓発を行っています。犯罪に巻き込まれないように正しい情報をお伝えすることが役割です。区民の方から「聞いてよかった。助かりました！ありがとう」と言っていた時にほっとした気持ちになります。“取り組んだ仕事が目の前の方の安全・安心を守ることに繋がっている”そう感じるたびにやりがいを感じます。

職場は、普段から皆で協力し合って仕事を進める明るい雰囲気です。些細なこともフランクに話せ、困ったときはすぐに相談できる環境です。また、若手職員のアイデアや意見を大切にしてください。熱心で優しい先輩や上司に恵まれて安心して仕事を進めることができます。



ある1日のスケジュール	8：00	出勤
	8：30	始業、スケジュール確認、メールチェック
	10：00	課内ミーティング
	11：00	資料作成
	12：00	昼食
	13：00	窓口、電話対応
	14：00	関係機関との打ち合わせ
	15：00	業者打ち合わせ
アフター5	16：00	資料作成
	17：15	退庁
	同期や先輩とごはんを食べに行ったり、ピラティスに行ったりリフレッシュしています。	



地元の方の目線に立って、より良い街づくりをめざしています。

所属：土木部工事第一課
職種：土木
採用年度：平成 29 年度

私は、世田谷・北沢・烏山地域の道路工事等の設計を担当しています。工事図面の作成などの細かい作業や各業者との調整には苦労することもあります。地元の方から感謝の声をいただいた時はやりがいを感じます。

土木の職場は「年齢層が高い」というイメージを持たれる方も多くいるかと思います。しかし、近年は世田谷区全体として多くの人数を採用していて、現在の私の職場も若手職員が多くとても風通しの良い職場です。



ある1日のスケジュール	8：30	始業、メール・予定表の確認
	10：30	現場調査
	11：00	現場調査の取りまとめ
	12：00	昼食
	13：00	関係企業者との調整
	14：00	図面のチェック
	15：00	数量計算書の精査
	16：00	書類作成、見積書の確認
アフター5	17：15	退庁
	ジムに行ったり、バイクで走ったりしています。	




建築の審査においても頭の片隅に「街づくり」を置いています。

所属：都市整備政策部建築審査課
職種：建築
採用年度：平成 29 年度

建築確認審査業務を担当しています。申請を受けた建築物の法令への適合を確認するため、申請された図面等の審査や完成した建築物の検査を行います。また、区民や設計者等から建築確認に関する相談なども受けています。

日々、住宅から公共施設まで様々な建築物に携わることができ、どこにどんな建物が建つのか街の動きを実感できることがこの仕事の魅力だと思います。

判断が難しい仕事があっても、上司や先輩に相談でき、豊富な知識と経験からアドバイスいただけますし、係員同士でも活発に意見や情報交換をしながら仕事を進めています。



ある1週間のスケジュール	月曜日	確認申請物件の敷地に行き、現場調査 確認申請図書の審査
	火曜日	窓口や電話の相談対応 指定確認検査機関からの問い合わせ対応
	水曜日	建築中の団地や区施設の中間検査
	木曜日	事業者と確認申請の事前打ち合わせ 係会で情報共有や意見交換
	金曜日	戸建て住宅の完了検査
	土曜日	資格試験の勉強
	日曜日	まち歩きやサイクリング



受験生の皆さん、世田谷区と一緒に働きましょう。

所属：砧総合支所保健福祉センター生活支援課
職種：福祉
採用年度：平成 30 年度

生活保護法に基づく、保護の支給決定を担当しています。ご自宅や施設への訪問、面接、会議への出席等を通じ、制度の目的である「自立」を支援しています。制度を利用される方の「一生」に関わり、その方らしい生き方・生活の実現をお手伝いさせて頂ける事に、やりがいを感じます。

私たちの職場では、普段からの「コミュニケーション」を大切にしています。そのため、常に活気があり、いつでも相談しやすい環境です。また、職員が各自で問題を解決し仕事を進めるのではなく、職場全体が一体となって仕事に取り組んでおり、とても働きやすい雰囲気です。



ある1週間のスケジュール	月曜日	生活保護費の支給決定処理、会議資料の作成
	火曜日	病院における会議への出席
	水曜日	会議に出席した際の記録作成、生活保護費の支給決定処理
	木曜日	利用者の方との窓口面接、所属課における会議へ出席
	金曜日	利用者のお宅へ訪問 生活保護費の支給決定処理、記録記入
	土曜日	趣味に没頭することで、気分をリフレッシュしています。
	日曜日	

若手職員の 本音

世田谷区の若手職員は、世田谷区のことを実際どう思っているのでしょうか？ズバリ、本音を聞いてみました！

Question 01 世田谷区のどんな所が好き？魅力は？

世田谷区全体について

区内各地域に特色があることが魅力だと思います。例えば、下北沢のように夜になっても賑やかな街や等々力溪谷のように緑豊かなスポットなど、様々な雰囲気を楽しむことができます。



入庁 5 年目 土木職



入庁 4 年目 事務職

緑が多く、季節を感じられる場所が多いところが好きです。また、区内には商店街も多く、お店も様々あるので、歩いていると発見があって楽しいです。

世田谷区の好きなところは、23 区の中でも人口が最も多く、活気があるところです。また三軒茶屋や下北沢など、ランドマーク的な存在が多数あり、誇りを多く感じる事が出来る点が魅力的です。



入庁 4 年目 福祉職

世田谷区役所について

5つの総合支所に加え、まちづくりセンターが各地区にあるため、区民と区役所の距離が近いです。職員が常に区民の声を身近で感じ、施策に活かすことができる点が魅力的だと感じています。



入庁 4 年目 福祉職



入庁 5 年目 建築職

ワークライフバランスの充実を図りやすいところです。定時内の業務効率化を図っている人が多いと感じます。

若手職員が多く、活気があるところが好きです。イベントなどの**応援職員制度**を通じて、他の部署の先輩や後輩と仲良くなれ、繋がりを築くことができます。



入庁 4 年目 事務職

応援職員制度とは

世田谷区が行うイベントや事業には、応援職員として携わることができるものもあります。区民や来場者の方々はもちろん、様々な部署からの応援職員とともにイベントを盛り上げることで、区民との繋がりが職員同士の絆を得ることができます。

Question 02 なぜ、世田谷区役所に就職しようと思ったのですか？



入庁 4 年目 福祉職

世田谷区は自然、文化、人々の交流拠点多いことなど多くの側面を持っています。地域特性が多様であり、様々な地域で仕事ができる点も魅力だと感じ、世田谷区を選択しました。

大学では建築を、大学院では都市計画系の研究室で住民ワークショップによる合意形成などを研究していました。その中で、住民とともに考えながらまちづくりに取り組む公務員になりたいと考えるようになり、住民・民間協働のまちづくりの土壌がある世田谷区で、自分の経験を生かしてまちづくりに貢献したいと思い、志望しました。



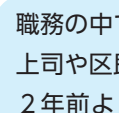
入庁 5 年目 建築職



入庁 4 年目 事務職

人の役に立ち貢献できる仕事がしたいと考えたからです。区役所は、住民にとって一番身近な自治体なので、生まれてから亡くなるまでサポートが、より現場でできる職場であると思い志望しました。

Question 03 世田谷区の職員になって良かったと感じた時は、どんな時ですか？



入庁 5 年目 土木職

職務の中で「成長」を感じられた時です。日々、上司や区民の方々から多くのこと学び、1年前、2年前より成長できているなと感じた時、世田谷区職員になれた喜びを感じます。この実感は、モチベーションの維持にも繋がっています。

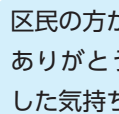


入庁 4 年目 福祉職



入庁 5 年目 土木職

就職を機に上京したため、採用当初は知り合いが全くなかった私にも、たくさんの友達ができた時です。



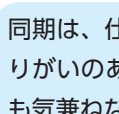
入庁 4 年目 事務職

区民の方から「聞いてよかった。助かりました！ありがとうございます」と言っていた時に、ほっとした気持ちになります。



入庁 4 年目 事務職

Question 04 同期・先輩（上司）・後輩は、それぞれどんな存在ですか？



入庁 5 年目 土木職

同期は、仕事上では親身に相談に乗ってくれる頼りがいのある同僚であり、プライベートでは何でも気兼ねなく話することができる仲間です。

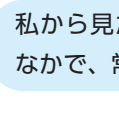


入庁 5 年目 土木職



入庁 4 年目 事務職

同期は、切磋琢磨し合える存在です。同期が頑張っているから私も頑張る、いつもそう思わせてくれる大切な仲間です。先輩方はどんな時も丁寧に話を聞いてくださる心強い存在です。先輩がしてくれていることを私も後輩にできるようになりたい！と思っています。



入庁 4 年目 福祉職

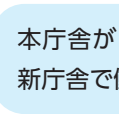
私から見た後輩は、新しい視点や意見等を聞くなかで、常に刺激を貰える存在です！



入庁 5 年目 建築職

先輩や上司は、いつも気にかけてくださり、難易度の高い仕事に困っているときはサポートしてください。いつか自分もそんな存在になりたいと思っています。

Question 05 世田谷区役所にダメ出ししてください！



入庁 4 年目 事務職

本庁舎がとても古いところです。建て替え後の新庁舎で働くことがとても楽しみです。



入庁 5 年目 土木職



入庁 4 年目 事務職

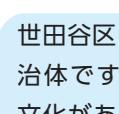
区民の方が行う様々な申請や職員の仕事をもっと電子化されて簡略化されたいなと思っています。数年後に完成する新庁舎ではオープンフロアになるので、新しい働き方になるのではと楽しみにしています。



入庁 5 年目 建築職

時差勤務などフレキシブルな働き方が、より浸透したら良いと思います。

Question 06 世田谷区職員をめざす方へメッセージを！



入庁 4 年目 福祉職

世田谷区は90万人以上の方が暮らす大きな自治体です。日本全国に誇れる街、自然、福祉、文化があるこの「世田谷区」で一緒に働ける日を楽しみにしています。



入庁 4 年目 福祉職



入庁 4 年目 事務職

世田谷区は同期が多いので、仕事の悩みを共有したり飲みに行ったり楽しんだりできる仲間がたくさんいる環境だと思います。ぜひ世田谷区と一緒に働きましょう！



入庁 5 年目 土木職

皆さんと会えることを心待ちにしております。一緒に、より住みやすい世田谷区をめざしませんか？

みんなの疑問！

Q 配属先はどのように決まるの？

採用前に提出する書類に、やりたい仕事や分野を記入していただき、それを参考にしながら決定します。その後、多くの職場で経験を積んでいただくことを基本に、3～4年程度で計画的に配置替えを行います。新たな適性の発見や今ある能力をさらに伸ばしていくことで、将来区政の中心に立って活躍する職員になれるよう、人材育成を図っています。

Q 職員に区内在住者は多い？

区内在住者は約4割です。東京都に隣接する神奈川県、埼玉県、千葉県などから通勤している職員もたくさんいます。また、出身地を見ても、北は北海道から南は沖縄県まで全国各地から多くの職員を採用しています。

まちづくり担当職員制度

採用後3～5年目の職員は、所属での日常業務以外に、年に数回、身近なまちづくりの拠点であるまちづくりセンターの仕事にも携わっています。例えば地区のおまつりや古着・古布回収、地域の方々が参加する歩こう会など、地域のイベントやまちづくり活動に従事することがあります。

地域の人々と関わりながら様々な経験を積むことは、長く区政に携わる職員にとって、協働の意欲を育む貴重な機会となっています。



地域スポーツ大会



春の歩こう会

だれもが活躍できる職場づくり

世田谷区では、職員が障害の有無にかかわらず、本人の意欲や個性に応じて能力を有効に発揮して活躍できるよう、障害のある職員に対しては、人事部門に設けた障害者雇用推進チームが採用前に障害特性等を把握するための面談を行うとともに、採用後も定期的に面談を行っています。また、全職員を対象とした障害者雇用の理解促進研修の実施や、区内障害者施設等からの体験実習の受け入れ等、職員の障害理解の促進にも取り組んでいます。

現在も様々な職場で障害のある職員が活躍していますが、今後も積極的に障害のある方の採用を行っていきます。